

群馬県における 農作業安全の取組状況

令和5年2月13日（月）

群馬県農政部技術支援課



群馬県における 農作業安全の推進体制

- **普及組織を中心に農作業安全運動を推進**
 - 春の農作業安全確認運動(国3/1～5/31,県4/1～6/31)
 - 秋の農作業安全確認運動(国9/1～10/31,県9/20～11/30)
 - 農作業死亡事故調査
 - その他啓発活動…
- 令和2年「**群馬県農作業事故防止・農業機械化推進会議**」を立ち上げ**連携体制を強化**
 - 構成員：J A 中央会、J A 共済連、J A 交対協、
J A 全農ぐんま、機械商組合、県警本部、
市長会、町村会、群馬県

群馬県農作業事故防止・農業機械化推進会議

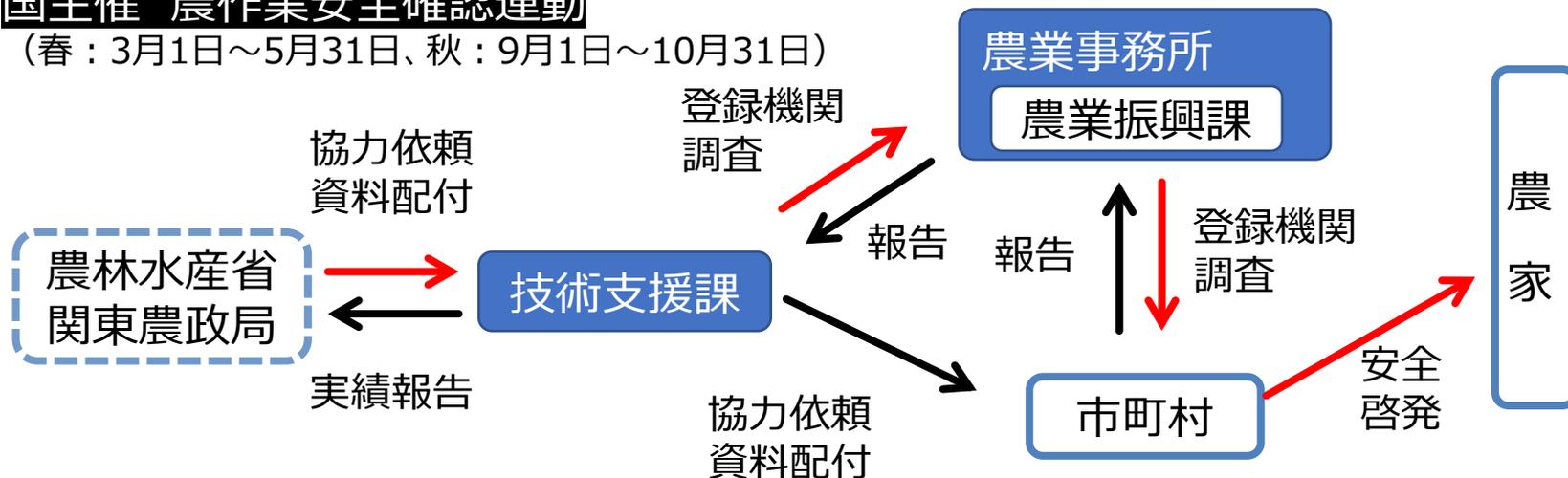
	構成員	主な活動内容
参 画 機 関	JA群馬中央会	各JAに対する農作業安全確認運動の周知・取りまとめ
	JA全農ぐんま（農業機械課）	農業機械整備研修、イベントでの農作業安全研修の企画
	群馬県農業機械商業協同組合	
	JA交通安全対策協会	農作業事故・交通事故防止に関する啓発活動
	JA共済連群馬	農作業事故に関する情報提供
	群馬県警本部	
	群馬県市長会	市町村への情報伝達
	群馬県町村会	
	農業事務所（農業振興課） （普及指導課・地区農業指導センター）	地域での農作業安全研修の企画・実施、実績取りまとめ 地域での農作業事故の調査・報告
技術支援課	県域での農作業安全運動確認周知・取りまとめ 農作業事故情報の取りまとめ・普及指導員へのフィードバック 農作業安全指導者向け研修運営による指導員育成	
協 力	厚生労働省 群馬労働局	労働災害に関する情報提供

農作業安全運動に関する事務フロー

農
作
業
安
全
運
動

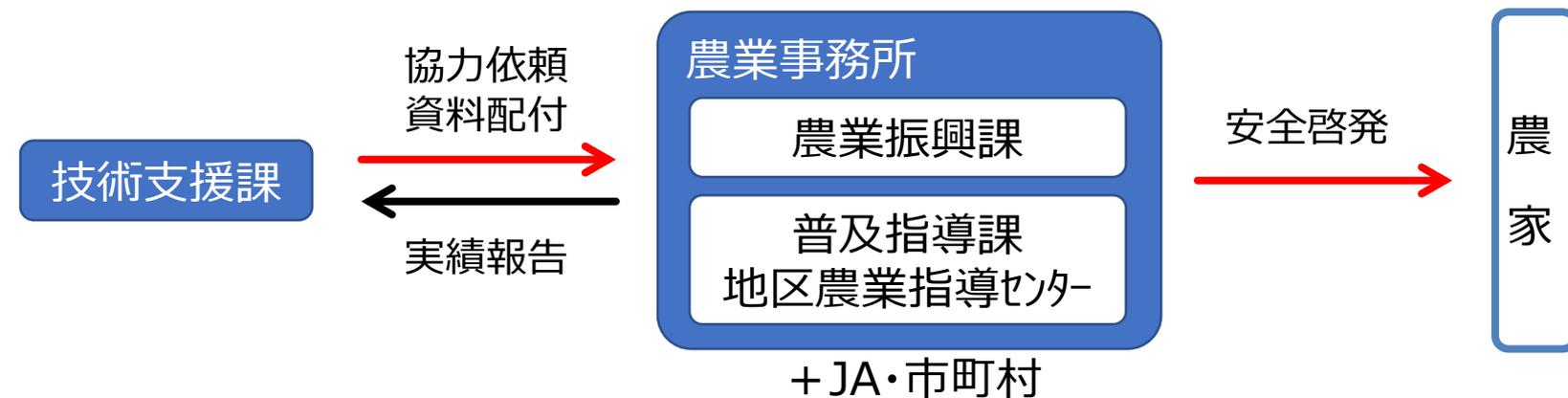
国主催 農作業安全確認運動

(春：3月1日～5月31日、秋：9月1日～10月31日)



県主催 農作業安全確認運動

(春：4月1日～6月30日、秋：9月20日～11月30日)



農作業安全研修の実施状況



栽培技術講習会+安全



農業基礎講座の1コマとして (VR)



対話型研修会 (実践型研修)



機械整備研修 (メーカー協力)

農作業死亡事故調査の実施状況



事故現場の調査



事故状況の確認・情報収集



事故調査票の作成・報告



講習会でのフィードバック・注意喚起¹⁵

農作業安全指導者の養成

年 度	県（普及）	市町村	JA	機械商	農業者	計
令和3年度	33 (27)	7	34	10	3	87
令和4年度	62 (53)	3	10	0	0	75
合 計	95 (80)	10	44	10	3	162

普及職員150名中、有資格者80名（**53%**） ※R4年末見込み



1年目：県、市町、JA、機械商、農業者
普及組織には、地域差が生じない
よう各所属で下限人数を設定

2年目：県、市、JA職員
人事異動で有資格者不在の所属
が発生、未資格者の積極受講を各
所属に依頼

その他の取組



県内で、**トラクターの盗難が急増**しています。
令和4年も**すでに8件の盗難が発生**しました。
トラクターは**畑やハウス、資材置き場等から盗まれています**。
防犯対策を徹底し、トラクターの盗難を防ぎましょう!

トラクターの盗難被害件数



盗難被害の特徴と防犯対策

【盗難被害の特徴】

- ① エンジンキーが抜いてあって被害に遭っています。
- ② 畑など屋外に置いたままの盗難が目立ちますが、ハウスや資材置き場などの施設内からもトラクターが盗まれています。
- ③ メーカーや機種、新型・旧型などによる被害の傾向はありません。
- ④ 夜間にトラックに積み込んで盗み出していると考えられます。

【防犯対策】

- ① 夜間、トラクターを畑などに置いたままにすることはやめましょう。
- ② エンジンキーを抜き、ハンドル・ロックなど物理的な盗難防止対策を行いましょう。
- ③ シャッターや扉のある倉庫等で保管し、出入り口に錠鎖をしましょう。
- ④ 保管場所にセンサー付きの照明具や防犯カメラを取り付けましょう。
- ⑤ 夜間、農機をトラックに積み込むなど不審な行動を見たら、直ちに最寄りの警察に通報しましょう。

群馬県農作業事故防止・農業機械化推進会議

などの盗難防止対策

群馬県農作業事故



盗難防止チラシでの注意喚起
青パト公用車による巡回

協力：群馬県農生活企画課

トラクターのキーの有無

あったまま 9件
なかった 15件

盗難場所

ハウス内 10件
その他 14件



放置しないで!



ありませんでした。

カメラを取り付ける。

付ける。

逮捕(必要)

今日も1日安全に! 農作業中の事故を防ぎましょう!!

畜産における「激突され」編

本県の畜産業においては、過去5年（H28～R2年）の間に死亡・負傷を合わせて**133件**の労働災害が発生しています。
事故の種類では「はさまれ・巻き込まれ」、「墜落・転落」が多く、この2つの型だけで事故の**約半数**を占めています。
次に「転倒」、「激突され」が多くなっており、これら4つの型で事故の**約7割**を占めています。

ひとたび農作業事故が発生すれば、被災者本人や家族、経営など、その影響は広く及びます。
一瞬の気の緩みが、廃業につながってしまうこともあります。

事故の要因は、作業環境や作業方法など、至る所に潜んでいます。
「今まで大丈夫だったから問題ない」、「自分は大丈夫」と思い込んでしまうのは、事故の要因を見逃すことにもつながり大変危険です。
作業環境や作業方法に危険がないかを常に確認し、現場の改善に日々取り組むことで、農作業事故を防止しましょう!



群馬県の畜産業における労働災害発生状況 (H28～R2)

群馬労働局 災害統計より作成
https://sitemihw.go.jp/sunma-roudoukyoku/irai_toukei/saisaitoukei/irai.html

◆「激突され」事故の対策ポイント

本県の畜産業における「激突され」事故は、その多くが家畜（牛、豚）で発生していますが、フォークリフトなどの荷役運搬機に激突される事故も発生しています。
今回は、畜産現場で多い「激突され」事故について事例を紹介しますので、自農場における事故防止対策の参考としてください。

【事例1】家畜（牛）に激突された事故

直腸検査を行うため、5頭の成雌牛をスタンションに保定し、後方からいきなり肛門に体温計を差し込んだ際、不意に牛が右後肢を振り上げ、右膝内側を2度蹴りつけられて受傷した。（右膝打撲・全治1週間）



原因

- ・当該牛は気性が荒いが、当日は落ち着いていたため、**油断して声かけ等を怠る**に作業した。

対策

- ・検査や注射等、**牛が嫌がる作業を行う場合は、声かけや生に触るなどしながら、細心の注意を払いつつ**作業を進める。
- ・対象牛だけでなく、**隣りにいる牛の動きにも注意**する。

独立行政法人 家畜改良センター「畜産関係災害事例集」（R2年6月29日発行）p.10より引用
<http://www.nlbc.go.jp/2006-1-2/tokusanroudosaisaigai/etodpf>

ら突進してきて、豚の牙が右大腿部に

（予め給餌を行い、採食に夢中になって）を守らず、給餌せずに**豚回に入り**ること。

畜する際は、豚を**給餌により誘導し、安**作業を行うか、**豚を他の単隔等に移動**

安全確認を!

約50件発生しています。
割合も高くなっています。また、**被災**作業者、**②用途外使用**、**③周囲の安全確認**

作業のポイント

確認しましょう!
ためには、運転技能講習の修了が必要

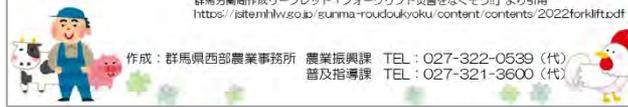
実施しましょう!
、定期的に安全教育を実施しましょう。

作成しましょう!
・地形、機械の種類・能力、荷の種類など作業計画を作成しましょう。

を配属しましょう!
作業計画に基づいて荷役作業等を行い

実施しましょう!
作業ルールの掲示、運行通路の死角部分へのミラー等の設置、走行場所と歩行者通路の区分など、作業環境を日々改善することで作業効率もアップします。

群馬労働局作成リーフレット「フォークリフト災害をなくそう」より引用
<https://sitemihw.go.jp/sunma-roudoukyoku/content/contents/2022forlift.pdf>



作成：群馬県西部農業事務所 農業振興課 TEL：027-322-0539（代）
普及指導課 TEL：027-321-3600（代）

畜産農家への「家保だより」による安全啓発

課題と今後の対応

- **研修実施回数に地域による大きな偏り**
 - 事故事例の共有、 + 安全研修の積極実施働きかけ
- **農作業安全確認運動（国） 参画市町村に偏り**
 - クロスコンプライアンスでの積極的引き込み
- **農作業安全指導者の配置に偏り**
 - 未受講普及員の受講呼びかけ（目標：全員受講）
- **高齢農業者による死亡事故件数の高止まり**
 - 講習会の情報が届かない人達がいる
 - ラスト1マイルをどうやって届ける？

ご清聴ありがとうございました

